

情報連絡会技術提案				
企業者等名称	対応する課題	技術提案	提案概要	お問合せ先
Splunk Service Japan 合同会社	(共通1) スマートメータ及び収集データの活用	スマートメータ及びマシンデータの活用	スマートメータや各種産業システムは様々なデータが生成され、効率的な検針業務や配水管理、またAI（機械学習）を活用したデータ分析が実現できる可能性があります。 弊社製品は米国Denver Water様（水質分析）をはじめ、様々なIoT用途で活用されている、リアルタイムにデータを収集・分析可能なソフトウェアの提供し、公共機関やインフラ企業のお役に立っております。	担当部署 第二営業本部 電話番号 Office : 03-6206-3780 Mobile : 090-5750-8727
富士通株式会社	(東京5) モバイル端末等を用いた現場点検情報の一元管理 (横浜5) 現場や研修施設以外で配管技能などの技術継承(例：VAR)	モバイルを活用した現場点検	「効率的な技術継承（教育面の効率化と具体的な技術継承）」及び「タイムリーな情報共有（重大案件や些細な気づきを共有）」をご支援いたします。 ヘッドマウントディスプレイに作業手順や注意事項を表示することで、現場担当者の作業レベルを底上げし、現場の作業効率を向上させます。 また、現場の作業映像や音声を、遠隔地にある事務所や他の現場と共有することでリアルタイムな遠隔支援が可能です。	担当部署 東京支社 電話番号 03-6252-2545 E-mail kj2-water-ict@ml.css.fujitsu.com
株式会社セイコーウェーブ	(横浜6) 消火栓及び空気弁のボルト腐食進行の判定 (横浜7) 水管橋の腐食進行の判定(塗装・管厚)	水管橋などの鋼材腐食判定	写真撮影やデブスゲージ、超音波肉厚計などに代わって、A4程度の範囲を、0.08秒で、最大30万点の3次元データを取得し、その場で手軽に解析することが可能。 主な用途は、鋼構造物（配管、水道管、ボルト、水管橋など）の腐食計測と供用適性評価（現在のまま運用可能か、修理が必要か、あと何年で修理が必要かの評価）と、コンクリート構造物の損傷（亀裂、剥落、浮きなど）の計測と数値化など。	担当部署 三鷹事業所 水道事業担当 電話番号 0422-24-8044 E-mail suido@seikowave.jp
日本電気株式会社	(東京8) 安全教育におけるVRの活用 (東京9) 災害訓練におけるVRの活用 (横浜5) 現場や研修施設以外で配管技能などの技術継承(例：VAR)	安全教育等へのVR活用	① VRにより時間や場所に依らずに研修が可能 ② 実際に発生した事故の追体験や、現実では再現できない事象をVR上で再現し、それを体験することにより、直感的でより効果の高い研修が可能 ③ システム管理者にて自由にコンテンツ作成・追加が可能 ④ ネットワークを介して複数箇所同時接続による研修が可能 ⑤ 修得・継承が難しい暗黙知であった熟練作業者の動作を数値化し、VR空間にて熟練作業者の動作トレースを行うことで技術の修得が可能	担当部署 公共・社会システム営業本部 水グループ 電話番号 03-3798-6018
株式会社セールスフォース・ドットコム	(大阪1) AIを活用した次世代型コールセンターの整備と広域化	CRMを活用した次世代の水道契約者対応基盤	CRMの考え方を取り入れ、水道契約者のための統合データベース化、見える化、進捗管理、電子申請、問合せ管理をワンストップで実現し水道契約者が望むサービスをタイムリーに提供できる基盤を確立し、同時に職員の負担軽減を目的としたご提案を申し上げます。	担当部署 公共営業部 E-mail masashi.yokomizo@salesforce.com
日本ユニシス株式会社	(東京5) モバイル端末等を用いた現場点検情報の一元管理 (横浜5) 現場や研修施設以外で配管技能などの技術継承(例：VAR)	AI・IoT技術を活用した点検業務の効率化	現在水道事業においては『人口減に伴う水需要減少』『水道施設の老朽化』『職員数減少・高齢化』の課題に対して、『施設データ整備』『施設維持管理・修繕』『技術継承』を進められていきますが、それらを支援し、更に現場作業の働き方改革も実現出来る設備点検サービス『まるっと点検』をご提案させていただき、『人手に頼ったオペレーションの効率化』『現場作業の効率化』『効率的な人材育成・技術継承』を実現してまいります。	E-mail iotbiz_event@ml.unisys.co.jp
ジオ・サーチ株式会社	(東京1) 水道管路の埋設位置の把握 (大阪4) 埋設管路の状況把握の高度化	地上・地下インフラ3Dマップによる地下埋設物の位置確認	地上・地下インフラ3Dマップは、地下埋設物が見える化・可視化する技術です。 マイクロ波を用いた多配列レーダアンテナで地上から1.5m以内の深さに敷設された太さ50mm以上の埋設物を3Dで面的・連続的に探査、表示することができます。 さらに地上部点群データと組み合わせると地上と地下情報を一体表示させることで、埋設物の効率的な維持管理や設計・施工が可能となることから、既に無電柱化工事等で活用が進んでいます。	担当部署 3Dマップグループ 電話番号 03-5710-0200 E-mail geoinfo@geosearch.co.jp